

季刊紙

マーガレット

三豊市立永康病院広報委員会

三豊市詫間町詫間 1298 番地 2

電話 0875-83-3001

FAX0875-83-6379

創刊号



広報紙第 1 号発刊にあたり

市民の皆様、各種行政・医療機関の皆様、大変遅ればせながら広報紙を発刊することとなりました。当院がどういう診療体制にありどういったことが出来るのか、今まで外へ向かっての発信が不十分であったという反省に立ってのことです。診療体制等はその時々で少しずつ変化しておりますが、そのような変化は情報を発信せねば分かりません。また当院にどのような医療スタッフがいて、何が出来るのか、どんなことが得意なのかをお示しすることは患者様にとって重要な事と考えます。皆様に愛される病院を目指して情報を発信して参りますので、この広報紙を宜しくお役立て下さいませ。



三豊市立永康病院 院長 湯中淳一

新任医師の紹介



嶋哲男 医師

香川県出身で、昭和 56 年に徳島大学医学部を卒業後、大阪府立病院、社会保険栗林病院に勤務しました。昭和 60 年より香川医科大学第 3 内科に入局し、医学博士、日本神経内科専門医、日本老年医学専門医、日本臨床神経生理学会専門医を取得しました。平成 15 年からは、香川大学医学部看護学科健康科学に異動となり、現在に至ります。専門は脳神経内科で、特にパーキンソン病や不随運動の治療です。外来を担当しますので、よろしくお願い致します。



初めまして。

今年度より勤務させて頂くことになりました、野中和香子と申します。

私は平成 25 年に鳥取大学を卒業し、これまで鳥取県、大阪府で神経内科や救急医療に従事した後、平成 29 年より香川大学脳神経内科で診療に携わってきました。日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医の資格を取得しています。地域の皆様の健康に貢献できるよう、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



野中和香子 医師



2019 年 4 月より香川大学病院から参りました土居智和と申します。三豊市ではなく三木町出身です。関西で基礎医学の研究者をしていましたが、U ターンして香川県に戻りました。瀬戸芸で島巡りをするのが好きで、瀬戸芸 2019 でも、診療で忙しい中ですが、栗島をはじめ色々な島に行きたいです。里山登りも趣味で、近くに良い山があったら教えてください。

出身大学：香川大学

専門分野：神経内科



土居智和 医師



木下翼 医師

4 月より永康病院に赴任します、内科医の木下翼といいます。高松市の出身です。今年の 3 月までは小豆島で地域医療に従事し、内科一般診療や救急診療、訪問診療といった地域医療のほか、健診や地域住民の方と健康教室などの交流を通じ、治療に限らず健康づくりにも関わってきました。今までの経験を活かして、三豊地域の住民の皆様の健康・福祉に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



市民の皆様に愛される病院を目指して

昨年9月に市長から、「永康病院建設計画に関する基本方針」が示され、新病院建設に向けての議会審議が、本格的にスタートしました。新病院開院までには、3年弱の期間を要しますが、その間私たち職員は、接遇力の向上をはじめ、あらゆる面で意識改革に取り組んで行くこととしています。そして、自治体病院の使命と役割を遂行し、市民の皆様に愛され頼られる病院を目指してまいりますので、今後とも永康病院をよろしく願いいたします。



事務長 貞廣慎二



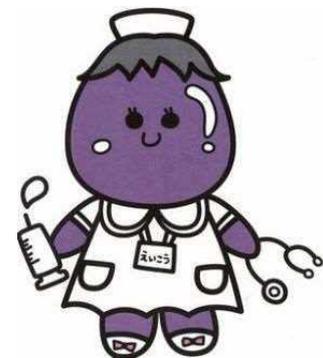
こんにちは、永康病院訪問看護ステーションです

「訪問看護」とは何ぞや？と、思っている方も多いようです。

簡単に言いますと、看護師が家に来て看護を提供する事です。

「提供する看護」とは、病院で行っていることと殆ど変わりません。利用は、介護保険を中心に、場合によっては医療保険での利用にもなります。詳しく御知りになりたい方は、担当ケアマネ・永康病院・訪問看護ステーションにお問い合わせください。

- ・点滴（中心静脈栄養や手や足からの点滴管理）
- ・ご家族への支援（介護不安の相談、支援 介護方法の助言）
- ・医療機器（在宅酸素など）やカテーテル等の管理
- ・日常生活の中での生活リハビリ
- ・PEG（胃瘻）やED（栄養チューブ）の管理・注入
- ・療養上のお世話（清潔、排泄の援助 日常生活の支援）



以上を中心に、訪問を行っています。他にも

- ・麻薬の疼痛管理（飲み薬や貼り薬など）・褥瘡の管理（傷や床ずれの処置）
- などもさせていただきます。ご相談ください。

三豊市立永康病院訪問看護ステーション

☎ 0875-23-6061 担当 山下

（受付時間 8時30分から 17時15分）



永康病院訪問診療を開始しました

2019年1月より、当院でも訪問診療を開始いたしました。訪問診療とは、通院が困難な方に対して、自宅あるいは居住している施設などに、医療機関から医師が訪れ、診療計画を立てて定期的に診療を行うものです。生活の場で診療を行うことで、より細やかな病状と生活状況の把握を行い、少しでも長くよい状態を保つためのサポートをします。訪問診療をご希望の方は、一度当院にご相談下さい。



<訪問診療を利用するまでの流れ>

- ①現在の主治医に「訪問診療を受けたい」と相談してください。
- ②紹介状をもらってください。(永康病院の先生が主治医でも同様です)
- ③紹介状を見せてもらって、面談方法を決定します。
 - ・診療開始前に面談ができなければ、訪問診療開始日に面談することもできます。
 - ・訪問開始前の面談は、家族だけでも大丈夫です。(場合により、担当ケアマネも同席願います)
 - ・契約・訪問開始日と時間・支払い方法などを相談します。
 - ・面談では、在宅での介護方法やサービスの利用状況、介護で困っていること、今後の予定などを本人と家人の考えをお聞きします。

以上で訪問診療が受けることができます。

訪問診療で行われる主な内容

- ①検温・脈拍測定・血圧測定・酸素飽和度の測定・血糖測定(必要時)など各種測定
- ②診察(胸部・腹部・全身の状況・褥瘡の状況・カテーテル類の状況など)
- ③検査(採血・採尿など)骨粗鬆症の注射なども、含まれます。
- ④注射・点滴・お薬の処方・カテーテル類の交換など

他にも患者さんの状況で、必要と思われる医療(治療)を行います。



お薬も処方してもらえますが、家族が薬局に取りに行くか、自宅まで薬剤師に届けてもらうことになります。この場合有料(540円/月)です。

お金の支払い方法も、今現在訪問看護を引き落としで利用中の方は同じになりますが、振り込みや病院の窓口払いの方は、変更になります。訪問診療希望時に相談ください。

編集後記

- 今年度より新たに広報紙を発行することになりました。
- 年に4回の発行ですが、皆様への情報を発信していきたいと考えています。

